

ブドウ新品種「ブラックビート」の特性

「ブラックビート」は、トンネル栽培では8月上中旬に収穫でき、果皮は紫黒色で赤熟れ果の発生がほとんど認められない、着色良好な早生の大粒系品種である。収穫は「巨峰」より2週間程度早く、糖度は「巨峰」よりやや低いが、酸含量も少なく、食味は良好である。

農業研究センター果樹研究所落葉果樹研究室(担当者:加久るみ子)

研究のねらい

本県のブドウは、大粒系紫黒色の「巨峰」や「ピオーネ」が主力品種(栽培面積148ha)となっており、梅雨明け後に収穫期を迎えるトンネル栽培では、食味は良いものの、着色期が高温であるため着色不良(赤熟れ)が大きな問題となっている。

そこで、トンネル栽培でも、西南暖地の大きな欠点である着色不良(赤熟れ)を解消できる特性を持つ優良品種を選定する。

研究の成果**【来歴】**

熊本県宇城市不知火町の河野隆夫氏により、平成2年に「藤稔」に「ピオーネ」を交配した交雑実生の中から選抜されたもので、平成16年6月に品種登録された。

1. 樹勢は強めで、花振るいがやや多く、有核栽培では無核果粒の混入が多くみられる(表1)。
2. 開花期は「巨峰」と同時期である。
3. 収穫期は「巨峰」に比べて2週間程度早く、トンネル栽培では8月上中旬である(図1)。
4. 果皮は紫黒色で、赤熟れ果の発生はほとんど認められない(表1、図2)。果粒は短楕円形で大きさは「巨峰」並みである(写真1)が、植物生育調節剤(ジベレリン、ホルクロルフェニユロン)を利用することにより果粒肥大が良くなる(表1)。
5. 糖度は「巨峰」よりやや低く、酸含量も少ない(表1)ため、あっさりした味ではあるが、食味は良好である。
6. 裂果は「巨峰」よりやや多いが、発生率としては高くない(表1)。

普及上の留意点

1. 着色の良さに惑わされ、酸が高いうちに収穫しないように、食味が良くなってから収穫を開始する。
2. 施設栽培を前提とする。

表1 「ブラックビート」と「巨峰」の果実品質比較

品種	植調剤	1粒重 (g)	果皮色	有核果率 (%)	含核数 (個/粒)	着粒数 (粒/房)	裂果率 (%)	糖度 (Brix)	酸 (g/100ml)
ブラックビート	処理	15.5	9.9	21	0.3	36	6.0	18.6	0.42
	無処理	10.8	10.9	58	0.7	28	6.8	20.8	0.44
巨峰	処理	11.7	6.1	-	-	38	2.6	19.5	0.53

注) ・「ブラックビート」の植調剤処理:満開時(1回目)にジベレリン12.5ppmとホルレクロルフェニユロン5ppmの混合液、満開10日後(2回目)にジベレリン25ppmとホルレクロルフェニユロン10ppmの混合液を花(果)房浸漬処理した。
 ・「巨峰」の植調剤処理については慣行処理で行った。
 収穫日:「ブラックビート」は8月8日～8月24日、「巨峰」は8月23日～9月6日(平成19年)。
 果皮色は農林水産省カラーチャートを使用した。

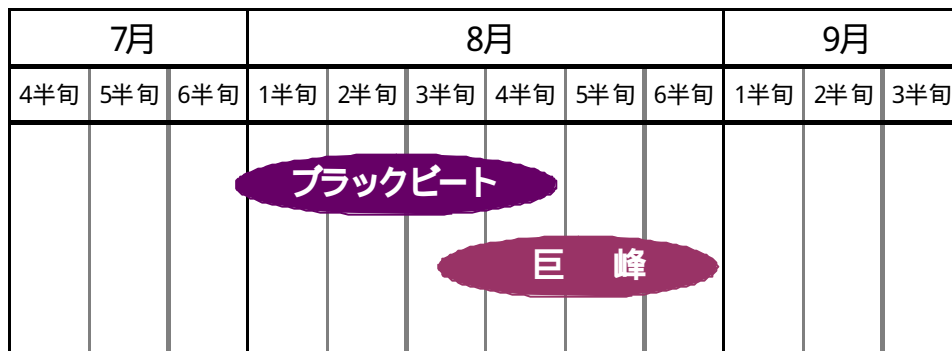


図1 「ブラックビート」と「巨峰」の収穫期(トンネル栽培)



写真1 「ブラックビート」と「巨峰」の果房

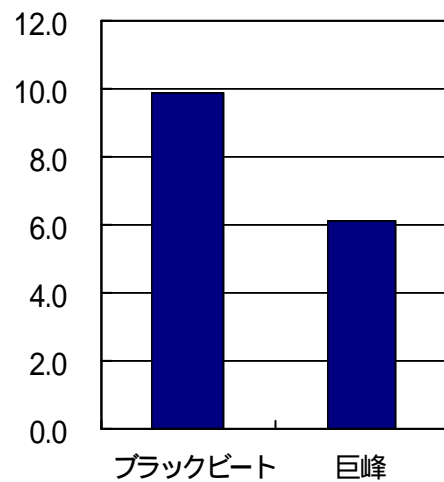


図2 「ブラックビート」と「巨峰」の果皮色(カラーチャート値)